

科目名	ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目31	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	50.0%
			(11/22)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	27.3%	イ	54.5%	ウ	18.2%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	18.2%	イ	63.6%	ウ	18.2%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	0.0%	イ	36.4%	ウ	36.4%	エ	27.3%
---	------	---	-------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	9.1%	イ	45.5%	ウ	18.2%	エ	0.0%	オ	27.3%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	-------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	9.1%	イ	36.4%	ウ	54.5%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	36.4%	イ	27.3%	ウ	36.4%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	27.3%	イ	54.5%	ウ	18.2%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	9.1%	イ	72.7%	ウ	18.2%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われるですか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	72.7%	イ	27.3%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	63.6%	イ	36.4%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。

ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた

ア	63.6%	イ	36.4%
---	-------	---	-------

(12)「授業改善シート」の結果を受けて、どの程度授業が改善されましたか。

ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった

ア	18.2%	イ	63.6%	ウ	18.2%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	27.3%	イ	36.4%	ウ	27.3%	エ	9.1%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	27.3%	イ	45.5%	ウ	27.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(15)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	18.2%	イ	45.5%	ウ	18.2%	エ	18.2%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(16)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	18.2%	イ	54.5%	ウ	27.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(17)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	9.1%	イ	90.9%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	------	---	------

(18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	9.1%	イ	63.6%	ウ	27.3%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

## 【Ⅱ】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

- (19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから (21)友達・先輩が取ったから  
(22)時間割上の都合から (23)簡単に単位が取れそうだから (24)必修だったから

(19)	54.5%	(20)	45.5%	(21)	9.1%
(22)	45.5%	(23)	0.0%	(24)	0.0%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (25)ビデオなど視聴覚教材の活用 (26)power pointなどのIT教材の活用 (27)上手な板書  
(28)話題や例示の妥当性 (29)この中にはない (30)満足している

(25)	9.1%	(26)	9.1%	(27)	27.3%
(28)	0.0%	(29)	9.1%	(30)	36.4%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (31)教室での対話 (32)教室外での対話 (33)e-mail (34)オフィスアワー  
(35)レポートによる感想や意見 (36)この中にはない (37)その他

(31)	27.3%	(32)	9.1%	(33)	0.0%	(34)	18.2%
(35)	0.0%	(36)	36.4%	(37)	0.0%		

### ①自己評価

選択式【Ⅰ】の全18項目は、

- タイプ1. 教員の授業中の姿勢・技術についての項目  
タイプ2. 学生が感じる授業への評価・成果についての項目  
タイプ3. シラバスや教材についての項目  
タイプ4. 学生自身の態度についての項目

という4タイプに分類できる。この4タイプのそれぞれについて、〈ア〉～〈エ〉の4択で答えてもらうものであり、

〈ア〉良い評価      〈イ〉概ね良い評価      〈ウ〉やや悪い評価      〈エ〉悪い評価

を示している。その上で、私の日本経済論の授業に対しては以下のような評価を得た。

まず、タイプ1に分類される項目「(7)先生の説明のわかりやすさ」、「(9)先生の授業の準備度合い」、「(10)先生の熱意や意欲」、「(12)「授業改善シート」を受けての授業改善の実施状況」について、項目(9)(10)において〈ア〉〈イ〉のプラス評価が合わせて100%を達成、残りの項目(7)(12)についてもプラス評価が80%を超えていた。当アンケートの実施日における出席率が50%であることを考えると、少なくとも半分の学生において当該教員の授業に対する姿勢や教授技術について高い評価があったと考えたい。

タイプ2に分類される項目は「(14)学習意欲への刺激」、「(15)授業内容の理解度」、「(16)授業への満足度」、「(17)自己形成への役立ち度」、「(18)他学生へのお勧め度」が入る。〈ア〉〈イ〉を合わせたプラス評価が、全体として60～100%とかなり幅がある。項目(17)はプラス評価100%を達成しているのに対し、項目(14)(16)(18)については約70%の評価、項目(15)は約60%の評価であった。項目(15)は「授業内容の理解度」を問うているから、これが学生自身の自己診断で回答者の40%ほどが、理解に難があったということになる。この結果を真剣に受け止めたい。いっぽう、項目(17)「自己形成への役立ち度」ではプラス評価が100%であったことは、おそらく、この授業の内容に関する理解度はともかく、難しさの面で「自己鍛錬にはなった」と多くの学生が感じた証拠ではなかろうか。現に、項目(6)「授業の難易度」では、「難しい」と「やや難しい」と答えた学生が約64%にのぼった。私自身は「やや難しい」くらいが適当だと考えているので、「やや難しい」と答えた約27%と、「適当である」と答えた約37%を合わせた約64%のほうを難易度についての適当な評価と捉えたい。「難しい」と答えた37%の学生は、その理由・原因をもう少し詳しく知りたいところである。

タイプ3に分類される項目「(4)シラバスは役に立ったか」、「(8)テキストやレジュメなど教材は役に立ったか」については、〈ア〉〈イ〉のプラス評価、前者が約54%、後者が約80%であった。シラバスの役立ち度とは具体的に何を指しているのかわかりにくい。シラバスは授業開講に先立って、その科目の趣旨・目的、方法・手段、具体的メニューを示すものであって、科目の内容を書きつくすものではない。それはまさに本番の授業の役目であって、シラバスの役目ではない。その意味から「役立つ」ということの意味が誤解された向きもあったのではなかろうか。今年度の日本経済論ではテキストを指定した。これは前年度の授業アンケートのなかで、テキストを使ってほしいとの要望に応えたものである。授業中に何度も説明したが、教科書の説明内容に私は必ずしも賛成していない。その都度教科書と私の見解の異同を説明してきた。その際には、PowerPointスライドの使用、板書も適宜行い、聴講者が十分に理解できるよう配慮した。アンケートの「自由記述欄」においても、こうした私の工夫に対して評価する記述があった。

タイプ4に分類される項目は「(1)出席の度合い」、「(2)あなたの積極性」、「(3)自習の程度」といった、学生自身の姿勢や態度を問うている点で、他のタイプと異なっている。出席に関しては80%の学生がよく出席しているとの回答であったが、私の手元控えでは、出欠調査回数29回のなかで、全体的に約60%の出席率(=出席数/出欠調査回数)となっている。「よく出席している」という学生の実感が、どの程度の出席率を認識してのことかわからないが、おそらくは、この授業評価アンケートに回答している人たちの多くが、出席率の高い学生で

あったと思われる。遅刻時間に応じて出席カードを色分けして用いた工夫が一定の効果をもったのだろうか。とはいえ、4年生以上の履修者も多く、就職活動等で極端に出席率が悪い学生もいた。また、野球部の学生諸君については、公式試合やそのための練習などで欠席することがあった。これについては、「公欠届」が提出されれば、成績に一定の点数を加算することで配慮を行った。出席率の向上は課題だが、抱える状況の異なる学生すべてに配慮した対応は難しい。問題はあとの二つである。「積極性」については80%がそうだったと答えているが、本来それを裏付けるべきはずの「自習の程度」が比較的やっていたと答えたものを含めて30数%に過ぎない。予習はともかく、復習やノート整理、指定テキストを読むなど、それくらいやって初めて授業内容への理解が強化されるのである。自発的な学習が難しいのであれば、宿題や毎回の小テストの実施など、強制力を働かさねばなるまい。大学であるから、そうはしたくないのだが。

## ②評価に対する教員の思い

アンケートの回答結果を見る限り、おおむね良い評価を得られたのかなという気がする。しかし、これはあくまでもアンケートに回答してくれた、学生に関してであり、アンケート実施日に授業に来なかった無視できないほど多くの学生に関しては、意見が聞けなかったのは残念である。①の「自己評価」でも書いたように、アンケート回答者が普段の授業への出席率が高い学生であり(いわゆる常連さんであり)、アンケート実施日に欠席していた学生は出席率が低い学生であると、仮に位置づけられるとすれば、当該科目(日本経済論)のどこに問題があるのか、私の授業のやり方のどこに不満があるのか、的を射た指摘をして欲しい。そうでなければ、「わからない。理解できない。」というのは、出席していないから、授業を真剣に聴いていないから、授業中携帯電話をいじっていたり、漫画を読んでいた、寝ていたりしてたりするからわからないのだと判断せざるを得ない。

その点で、アンケート回答者についてももう少し感じたことを率直に回答して欲しかった。選択式のアンケートはほとんどの人が回答してくれているが、自由記述欄に対する回答がほとんど無い(昨年度と比べても、皆無に等しい)。自由記述欄こそが、学生諸君の具体的な要望や感想を聞ける手段であるはずなのに。大学を、そして授業を改善していくためには、教育サービスを提供する大学側(教員含めて)と、それを需要する学生側の両者が協力的緊張関係を作り、それを維持することが重要と考える。

## ③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

アンケートの回答から特に要望のあった点については①の「自己評価」にも書いたので繰り返さない。代わりに、私が現在考えている改善点をいくつか列挙しておきたい。

### 1. 教科書指定の再検討

今年度は教科書を指定し、それにそって授業を行ってきたが、内容の適切さ、難易度、授業を進める上での使い勝手の良さなどの点について、かなり問題があることがわかった。これは単に選んだ教科書の問題であったのか、それとも教科書を使うときの一般的なデメリットなのか、検証してみたい。そのうえで次年度において、教科書指定の是非を決めたい。

### 2. PowerPoint教材の更新・改良

PowerPoint教材は、日常的に改良と更新を図っている。記述を改めたり、データを更新したりしている。これらは継続して行っていきたい。

### 3. 小テストの実施

今年度は小テストを実施できなかったが、やはり期末試験だけでは毎回の授業の緊張感を保てないことが痛感できた。また、期末試験直前になって、一夜漬けでの勉強というのがほとんどの学生の実態であるから、授業期間中に小テストを何回か(おそらくは1テーマごとに)行って、学生諸君の勉強への注力を分散させたい。

### 4. IT機器の利用

本学では、キャンパス内の所定の場所において、学生はPCにログオンし、「教材箱」や「提出箱」にアクセスすることができる。この機能をもっとうまく使い、ワークシートの配布や宿題などの課題を多く出すようにしたい。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。